

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

細施策 地域を支えるための行政の支援推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
5 協働推進課	112010 若者の参画促進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	<ul style="list-style-type: none"> ●担当課自己評価にもあるように、各地区独自の若者確保を推進し、市が中心にならずによい仕組みを早く構築すべき。(山下) ●若者＝大学生だけではないので、中高生も参加できるようにしくみがあってもよいのではないか。大学生は多くの場合県外出身者であり、中高生はそうではないので、地元への愛着や貢献意欲を持てるきっかけにもなるのではないかと。(川口) ●PRも含めて、もっと改善と戦略が必要。(谷口) ●地域おこし協力隊の活動と継続した事業への支援が必要。中高生の積極的な事業参画への呼びかけは保護者理解を進めながら行った方がよいと思う。特に防災について、先進地域では中学生の防災士資格取得のための支援を行っている自治体があり、若年者が地域防災と地域力向上を担っている。(小松) ●取組実績にR4年度が2回あるが、一つはR5年度ですか？(小柴) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 									
		2 分からない	2			<ul style="list-style-type: none"> 2●基本的に参加している若者の数が少ない。(谷口) 2●地域活性化を図るとあるが、どういう結果が目標としている地域活性化なのか不明。活用した地区数も目標に達していない。(小柴) 								
		3 妥当でない	0											
6 協働推進課	112020 職員等の派遣の推進 (担当課自己評価：C)	1 妥当である	9	<ul style="list-style-type: none"> ●制度の周知が必要なのか、そもそもニーズが少ないのか、見極めと判断が必要ではないか。(山下) ●市職員のスキル向上の取り組みのイメージ（一例）は？(河崎) ●幅広い地域での活動に期待。(谷口) ●複雑化している地域課題を解決するためには行政側の横断的な対応が欠かせない。(小松) ●R5年度の派遣が7回とあるが、そもそも該当地区数が不明のため派遣数が多いのか少ないのかわからなかった。(小柴) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 									
		2 分からない	1			<ul style="list-style-type: none"> 1●積極的に活動出来ている。(谷口) 2●行政サイドの事業目的と地域との関わりについて検証すべき(小松) 								
		3 妥当でない	0											
7 協働推進課	112030 協働内容の精査 (担当課自己評価：B) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	7	<ul style="list-style-type: none"> ●あまり活発な活動がされていないようなので、見直しが必要だと思う。(山下) ●もっとコミュニケーションを強化することが必要と感じる。(谷口) ●地域活動を行う上で個人情報保護の観点から住民の情報共有が出来ないことが地域力低下につながっているのではないかと。情報保護の責任を持つ団体等については適宜必要な情報を提供することが必要。(小松) ●組織が一体化した2地区とは？(小柴) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 1 1 3 1 1 3 2 1 1 									
		2 分からない	1			<ul style="list-style-type: none"> 3●課題が多すぎて、成果が見えない。(谷口) 3●効果額まだ予定より進んでいないので(森田) 2●目的や必要性、課題感は伝わるが、具体性が見えない。(土橋) 								
		3 妥当でない	2											

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手
 ※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

柱2 時代の変化に即応できる組織体制の構築

施策 柔軟かつ適正な業務遂行のための職員力・組織力の向上

細施策 積極的な課題解決に挑む職員の育成

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
13 行財政改革課	211010 職員のコスト意識の醸成 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	7	1●一定の成果があり、妥当と判断。(谷口) 2●コスト意識を優先させるために市民に寄り添うサービスの提供が低下する懸念がある。(小松) 2●目的や必要性は伝わるが、具体性が見えない。声掛け運動によるパフォーマンスと見られかねない。(土橋) 2●web研修なのに受講率が100%にならない理由が不明。(小柴)	●予定されていた研修と意識調査の実施で「計画通り」とするだけでなく、アンケートでのコスト意識の向上を目標とすべきではないのか。(山下) ●より効率的な運営を目指して頂きたい。(谷口) ●財政状況と職員の市民へに対する奉仕やサービス意識は別物のものであり、SQのあるまちづくりとの整合性をどうしていくか、もっと職員内で掘り下げた議論があって良いのではないかと。(小松)	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
		2 分からない	3												
		3 妥当でない	0												
14 デジタル戦略課	211020 職員のICTスキルアップ (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	2●個人差がありすぎるのではないかと。(谷口) 2●ICT化に向けたスキルアップは必要であるが、高齢者などICT活用が苦手な市民に対してチャットなどによる回答システムが先行しては誰にも開かれた市役所は築けず本末転倒となりはしないかと。(小松)	●予定されていた研修の実施で「計画通り」とするだけでなく、研修の成果としてどのような業務でICT活用が拡大したのかも成果指標にすべきではないかと。(山下) ●「デジタル職員育成方針」とはどういうものなのか知りたい。(川口) ●職員ごとに意識レベルに差があり、全体的なレベルアップが必要。(谷口) ●ICT化を進めつつ、電話相談でもすぐにつながり直接声を聞くためのセクションはしっかり維持してほしい。(小松) ●本人の意欲や習熟度格差により、ICTデバインドを助長し、本来スキルアップを期待する職員の底上げに繋がらないことも想定されるため、全職員の意識共有のための動機付け、仕掛けが必要(土橋)	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	0												
15 行財政改革課	211030 職員提案の充実 (担当課自己評価：C)	1 妥当である	7	3●実施を見送ったのであれば、D未着手ではないかと。(山下) 2●一定数の職員しか提案が少ないように感じる。(谷口) 2●提案する職員が少ないという点(土師)	●提案する職員に限られたり、提案が少ないのは制度の問題なのか、職員の意識・資質の問題なのかも検討すべき。(山下) ●提案しやすい環境整備を民間での取組も反映しながら改善すべき。(谷口) ●職員のアイデアを事業化する議論が本当に必要。幹部職員への直接提案は本当に出来ているのか疑問であり、職員提案が市長マニフェストにどのように反映され、実行率がどの程度なのかを数値化してほしい。(小松) ●今後どのように提案する職員を増やし、見直すことができるようになるか。(土師) ●今年度は実施を見送ったとのことですが、提案したい人は出来なかったということですか？(小柴)	3	1	1	2	1	2	1	1	1	1
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	1												
16 職員課	211040 職員の自主的な活動支援 (担当課自己評価：C)	1 妥当である	10	1●自己啓発は重要であり、市の支援に期待。(谷口)	●新たな検討課題とは何か。大幅な遅れをどのように取り戻すのか、中止するのか、しっかり判断されたい。(山下) ●試行的な活動支援の内容が知りたい(河崎) ●積極的な市の関与が重要。(谷口) ●仕事に関する自己啓発なので、業務時間中に行えるような研修として認めることもあっていいのでは。(小柴)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	0												
		3 妥当でない	0												

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手
 ※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

細施策 誰もが働きやすく能力を発揮できる組織体制の構築

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保	
17 職員課	212010 フレックスタイム制度の導入 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	10	1●妥当と判断。(谷口)	●さまざまな目的で制度が利用できるよう、柔軟な運用を期待したい。1日7時間45分でなくとも、週38時間45分でも良いのではないか。(山下) ●「利用する職員からの意見なども踏まえ、必要に応じて運用面に関する検討を行う」とあるが、どんな意見が挙がっているのか知りたい。(川口) ●時代の流れとともに、働き方も変化していくべきと思料。(谷口)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		2 分からない	0												
		3 妥当でない	0												
18 職員課	212020 女性活躍の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	9	1●妥当と判断。(谷口) 2●女性管理職の割合は低く、独自性のある女性活躍の市役所ということが伝わってこない。(小松)	●取り組み開始以後、女性の管理職登用はどれくらい増えているのかが、指標となるべきではないのか。(山下) ●今後さらに期待。(谷口) ●特に防災対策など民間意見も採用してほしい。危機管理局の女性職員配置率がどうなのか知りたい。また、子育て支援については関連部局の女性管理職を充実させ、権限強化をはかり、きめ細かな対応をしてほしい。(小松) ●育休を長く取得した女性も管理職になれる職場になってほしい。(小柴)	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	0												
19 職員課	212030 障がい者雇用率の拡大 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	2●法定雇用率は正規職員だけでも達成されなければ、制度の主旨に反するのではないか。(山下) 1●妥当と判断。(谷口) 2●視覚、聴覚障がい者の雇用実態がわからない。(小松)	●正規・非正規それぞれの2.6%の数値はどうなっているのか。(山下) ●重要な事項であり、今後も拡充に期待。(谷口) ●視覚、聴覚障がい者が安心して働ける環境がどのようなものであるか発信してほしい。(小松)	2	1	1	1	2	1	1	1	1	
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	0												
20 職員課	212040 メンタル休職者の削減、ハラスメント対策の徹底 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	7	3●R元年度78.1%が5年度でも87.6%では、当面100%には届かない。(山下) 1●妥当と判断。(谷口) 2●「解決」に一切触れられていない。内部、外部窓口はあるが、相談を受けた後の、解決体制/ルールが不明であり、根源解消の抑止力として弱い。213040内部通報制度活用との運動/導線をしっかりお願いしたい。(土橋) 2●実施計画名の中に「メンタル休職者の削減」とあるが、その結果が不明。(小柴)	●昨年度も指摘したが、受検率が目標ではなく、高ストレス者の減少を目標とすべき。(山下) ●「受検率の低い職場への声掛け」とあるが、どうして当該職場の受検率が低いのか原因は掴まれているか。 ●昨年度の報告書でも言及があったように記憶しているが、個別成果指標を「ストレスチェック回答率100%」とするのはナンセンスである。(川口) ●当然のことであり、最重要テーマとも考える。(谷口) ●職員へのハラスメントは職場内部の他に市民や議会からなど多岐にわたることから、実態把握に努めて頂きたい。リワークしやすい職場のあり方について、市民にもわかりやすい説明が必要と思う。(小松) ●行政であるがゆえの困難性(市民の声を聴く必要性)は理解するが、近年メンタル要因として課題感が大きくなっていると思われる、とカスタマーハラスメント対策も必要ではないか。(土橋)	3	1	1	1	1	1	1	2	2	1
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	1												

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手
 ※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

細施策 内部統制機能の強化															
管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
21 総務課	213010 組織内統制プロセス及び体制の整備 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	9	2●どこまで緻密に取り組めているのか疑問。(谷口)	●結果が市民にはよくわからない。(谷口)	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	0												
22 総務課	213020 業務におけるリスクの洗い出し、課題の整理 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	7	2●やっている内容に判断がつきにくい。(谷口) 2●膨大なチェック項目の前に想定されるリスク予測のあり方についての検討がどのような形でどこまで深掘りされているかわからない。(小松) 2●目的や必要性は伝わるが、具体性が見えない。(土橋)	●見にくい部分であり、実際の活動に移すのは至難だと考える。(谷口) ●想定範囲をどこまで行うかの検討は必要と思うが、これまでのあらゆる「想定外」の洗い出しと対応マニュアルの検証がどのようになっているか公表が必要ではないか？(小松)	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1
		2 分からない	3												
		3 妥当でない	0												
23 職員課	213030 コンプライアンスの推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	9	2●個別成果指標に「研修参加者：全職階職員」とあり、令和5年度は新規採用職員と主任級職員対象の研修のみであったようで、局所的な実施であるように見える。計画期間残り1年で、他の全ての職階職員へ実施することは、「B：概ね計画通り」と言えるのか疑問(すでに令和4年度以前に、他の職階職員対象に実施しているのであれば別)。(川口) 1●妥当と判断。(谷口)	●研修はもちろん必要だが、それだけでなく困難に直面した職員が法令違反を侵さなくすむような、事前の対策も検討してみてもどうか。(山下) ●積極的に取り組み出来ていると感じている。一部職員の不祥事がメディアで取り上げられたが、活動に問題はないと感じる。(谷口) ●コンプライアンスはハラスメントにも関係すると思うので、ハラスメント研修との連携も必要なのでは？(小柴)	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	0												
24 職員課	213040 内部通報制度の活用 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	7	2●現状が不透明で、判断がつきにくい。(谷口) 2●「是正」の内容が不明。解決体制/ルールが不明であり、自浄作用のための抑止力としての効果が不明瞭。(土橋) 3●周知の具体的な範囲が知りたいです。目標と進捗状況が漠然としていて評価が難しかったです(大久保)	●アンケート内容が知りたい。通報が少ない場合、通報しやすい仕組みになっているか検証しているのか(河崎) ●全職員に徹底できているのか不明。(谷口) ●先般の兵庫県の事例を検証し、職員を守る制度の適切かつ責任ある活用に努めてほしい。(小松)	1	1	1	2	1	1	1	2	1	3
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	1												

施策 働き方の見直しによる生産性の向上

細施策 時間外勤務の抑制に向けた取組の強化

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
25 職員課	221010 適切な労務管理による時間外削減 (担当課自己評価：B) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	10	1●妥当と判断。(谷口)	●上司を通さないアンケート等で実情把握はしているのか(河崎) ●働き方改革の意識も高まり、周知徹底出来ていると感じる。(谷口)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	0												
		3 妥当でない	0												
26 職員課	221020 繁忙期の人的支援（横断的な応援体制の構築）による時間外削減 (担当課自己評価：B) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	8	1●妥当と判断。(谷口) 3●コロナ感染対策など突発的な対処について臨時職員の採用をはかるなど、職員負担の軽減策がはかられていたのか疑問に思う。(小松) 2●応援に行くだけでなく、応援に行った人が本当に支援出来ているかが大切であり、そこがわからなかったです。(小柴)	●マルチで仕事ができる人に業務が集中していないか心配(河崎) ●試行錯誤しながら、しっかり取り組んでいると感じる。(谷口) ●本来の職務に専念し、過度な負担が増えないよう事前のマニュアル化が必要。(小松)	1	1	1	1	3	1	1	1	2	1
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	1												
27 職員課	221030 効率的に業務を遂行する職員への評価制度 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	9	2●年功序列の様子が伺えて、疑問を感じる。(谷口)	●特段の課題がなければ、計画を繰り上げて終了しても良いのではないか。(山下) ●民間の体制も参考に、年代に関係ない評価をしていただきたい。(谷口) ●若手職員とベテラン職員間で横断的に職員同士がサポートあい含める公開型の相談体制システムなど検討してはどうか。(小松) ●効率性以外にも評価する観点はあるのか？ 無いのであれば、加味してはどうか。(土橋)	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	0												
28 デジタル課	221040 ICTを活用した職員の早期帰宅推奨 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	7	2●進捗度評価と担当課自己評価の説明にギャップがあるため分りにくく、判断しかねる。(山下) 2●現状の結果が記載されていないので判断が難しい。(河崎) 2●どこまで浸透しているか不明。(谷口)	●ICTの活用により、効率化は当然であり、それが職員への意識も含めてどの提訴浸透しているのか疑問。(谷口) ●早く出勤して仕事をして定時に帰る人がいないかも集計して欲しい。(小柴)	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	3												
		3 妥当でない	0												

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

細施策 AI・RPA等の活用による業務の改革															
管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
35	デジタル戦略課 223010 AI・RPAの導入 (担当課自己評価：B) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	6	3●RPA利用業務数は前年度を上回っているが、個別成果指標の50業務には遠く及んでいないのではないか。(山下) 3●改善の余地あり。(谷口) ●効果額が出るよう頑張ってください(森田) 2●計画の指標に50業務とあるが、その成果に到達していないと思ったので。(小柴)	●効果額実績がマイナス766万円。システム導入に伴う初期投資かと思われるが、目標280万を取り戻せそうか？(河崎) ●取組方が規模として小さく感じる。(谷口) ●AIへ作業を担わせる前段階でのチェックを確実に行わなければ結果として人為ミスを起こす可能性はないのか？(小松) ●ご記載の通り、活用できる職員やフォロー体制が必要と考える。(土橋)	3	1	1	3	1	1	2	1	2	1
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	2												
36	デジタル戦略課 223020 モバイルワークの推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	9	2●結果が不透明。(谷口)	●個別成果指標と進捗状況の成果の基準を統一されたい。(山下) ●進捗Aでも良いくらいです(河崎) ●部署による偏りが見られ、改善と普及が必要。(谷口)	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	0												
37	検査契約課 223030 電子入札・契約の促進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	2●電子入札の本格導入で実施率が52%というのは、個別成果指標の目標570件と比べられない。(山下) 1●妥当と判断。(谷口) 2●前年度までに促しても登録までこぎつけることのできなかった20%に、どう対策するのか気になります(大久保)	●今後も改善しながら進めてもらいたい。(谷口)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	0												
38	デジタル戦略課 223040 電子申請の推進 (担当課自己評価：A) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	9	1●妥当と判断。(谷口) 2●電子申請の進捗が分野別で示されていない。(小松)	●利便性の向上が図られており、大変助かる部分が多いが、高齢者の方々への対応も願いたい。(谷口) ●公的施設使用の電子申請が充実していないとの意見が多くある。各公的施設のメールアドレスがホームページに記載されていない、もしくはわかりづらい。(小松)	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	0												
39	デジタル戦略課 223050 仮想化技術の利用による端末の集約化の検討 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	3●成果が見られない。(谷口) 2●市役所との情報交換の際に添付ファイルを開くパスワードの付け忘れが多い。(小松)	●検討はされていても、実際何をやっているのか不明。(谷口) ●容量が多いデータを市役所へ発信する際、ファイル便に変更して送信できない。(小松)	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	1												

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手
 ※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

柱3 将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立

施策 自主財源の確保と新たな財源の創出

細施策 税等の適正賦課及び収納率の向上

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
40 収納推進課	311010 債権の収納率向上 (担当課自己評価：A) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	8	2●取組方針に問題はないものの、成果が不透明さが伺える。(谷口) 1●目的や必要性、課題感は伝わるが、具体性が見えない。(土橋) 2●住宅新築資金貸付金の大口回収案件が減少していることで徴収額が減少傾向にあることへの対策はできるのでしょうか(大久保)	●困難な事象ではあるが、成果発揮に向け取り組んでいただきたい。(谷口) ●既に論議は尽くされていると思うが、マイナンバーなども活用した電子徴収などの強制力を持たせる仕組みの実証も必要では。(土橋) ●成果指標は回収率ではないですね。徴収職員のメンタルヘルスへの取り組みをお願いします。(小柴)	1	1	1	2	1	1	1	1	2
		2 分からない	2											
		3 妥当でない	0											
41 収納推進課	311020 キャッシュレス決済の導入 (担当課自己評価：A)	1 妥当である	9	1●導入推進が加速しており、妥当と判断。(谷口) 2●効果額が0なのが少し気になりました。(大久保)	●このペースの維持をお願いします。(谷口) ●キャッシュレス決済は手数料が高いイメージですが、収納額と事務効率化のバランスは大丈夫でしょうか。(小柴)	1	1	1	1	1	1	1	1	2
		2 分からない	1											
		3 妥当でない	0											
42 課資産税	311030 固定資産税（償却資産）の調査 (担当課自己評価：A)	1 妥当である	10	1●問題なく妥当と判断。(谷口)	●人員不足に対する課題克服も早急をお願いします。(谷口)	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	0											
		3 妥当でない	0											
43 市民税課	311040 個人市・県民税に係る課税ベースの拡大 (担当課自己評価：C) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	9	2●市民に対する利便性に欠けている感がある。(谷口)	●制度の複雑さも不透明さが見える要因ではないか。(谷口) ●大切な税収の問題であり、人員を増やしても目標を達成してほしいです。(小柴)	1	1	1	2	1	1	1	1	1
		2 分からない	1											
		3 妥当でない	0											
44 市民税課	311050 法人市民税に係る課税ベースの拡大 (担当課自己評価：A)	1 妥当である	9	2●公平性がよくわからない。(谷口)	●制度の変更が頻繁にあり、市民の理解度も低いいため、よりわかりやすい説明が必要。(谷口)	1	1	1	2	1	1	1	1	1
		2 分からない	1											
		3 妥当でない	0											

細施策 受益者負担の適正化

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
45 行財政改革	312010 使用料・手数料の見直し (担当課自己評価：C) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	10	1●必要な事であり、取組も妥当と判断。(谷口)	●R3年度で止まっている。理由の内部調整とは具体的に何か?(河崎) ●適宜見直しは当然必要と考える。(谷口)	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	0											
		3 妥当でない	0											
46 道路課	312020 道路占有料の見直し (担当課自己評価：B)	1 妥当である	10	1●取組自体、理解でき妥当と判断。(谷口)	●独自ルール確立は、困難であるも必要と認識。(谷口) ●土地価格減少傾向を見越しての改定と思うが、価格上昇時も想定した体系化が必要と考える。(土橋)	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	0											
		3 妥当でない	0											

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手
 ※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

細施策 市有財産の活用及び売却等の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		コメント欄（妥当性の判断の理由など）	その他欄（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
47	313010 貸付・売却可能な市有財産の公開と 公売の推進 (担当課自己評価：A)	1 妥当である	10	1●妥当と判断。(谷口)	● 公用車3台の売却額が257万円とあるが、どのような状態の車を売却しているのか。 (山下) ●有効活用は重要であり、継続していただきたい。(谷口) ●市有財産の貸付、売却は現在の方法以外の検討は出来ないのか。(小松) ● 売却額が適正なのかはどことが判断されますか？ (小柴)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	0												
		3 妥当でない	0												
48	313020 多目的室等の貸室化 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	1●市民活動には大切であり、賛同できる取組である。(谷口) 2● 目標稼働率の30%貸の根拠が不明。貸出し業務のみなら、外部委託されては？ (小柴) 2●今年度の時点で30%が計画通りということでしたが、目標とする稼働率が分からないので評価が難しかったです(大久保)	●稼働率目標の上方修正も可能ではないか。(山下) ●継続していくことを願います。(谷口) ●手弁当で運営し賃料負担にも困っておられる団体にも有効であり、地域活性化などへの間接的効果があると考える。(土橋)	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	0												
49	313030 廃校の有効活用の検討 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	2●廃校の数が増えていく現状の中、取組推進には賛同できるも、成果が見にくい。(谷口) 2●老朽化が激しい建物の維持管理が困難であるため活用が限定的となっている。活用策を広く求める場合、維持管理費等の負担軽減策は必要ではないか。(小松)	●この両校以外の状況はどうか。(山下) ●他の貸付可能な廃校はあるか？(河崎) ●積極的な推進と、民間との連携も必要である。(谷口) ●民間力による質の高い建物活用策を進め、官民で自主財源確保への検討を行っていくことが出来ないか。(小松)	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1
		2 分からない	2												
		3 妥当でない	0												
50	313040 公共施設マネジメント民間提案制度 の推進 ✓新プラン継続予定	1 妥当である	9	1●妥当と判断。(谷口) 3●公共施設の管理が現状所管のままであることから新たな活用策が生まれていないのではないか。(小松)	●取り組みが有効に機能していないように思われる。必要な改善策も検討されたい。(山下) ●民間との連携は必須。(谷口) ●例) 国府町「万葉の館」(旧食文化発信施設)は農林水産部所管であり老朽化を放置したまま地域活性化や財源策が検討されていない。所管換えを行い新たな活用策を進めていくべきではないか。(小松)	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1
		2 分からない	0												
		3 妥当でない	1												

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

細施策 新たな財源の創出

課	管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口有	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
			1	2			3	4	5	6	7	8	9	10		
51 生涯学習・スポーツ課	314010	発行物、市有財産への広告掲載（成人式案内通知） （担当課自己評価：B）	1 妥当である	5	3●効果額150万円に対し1万円。民間とのイベント運営の実施表記もなく、Cでは？（河崎） 3●「実施計画の内容」における「効果額」が150万円とあり、「改革の成果」における「効果額」は1万円とある。それでも「B」としたのは妥当でないように思われる。（川口） 3●方針に賛同はできるが、進捗状況が鈍く感じる。（谷口） 3●魅力ある成人式となっていない。検討課題にあるように運営方式を全面的に見直すことが妥当かと思う。「民間と協働しての開催」のイメージが伝わってこない。（小松） 2●当課で募集したとあるが、 どういう方法で企業を募集したのか不明 。効果額は2先で掲載費1万円ということ？（小柴）	●成人式の案内はがきのスポンサー募集や、成人式のあり方検討だけの計画では不十分。計画的に取り組むような内容ではないのでは。（山下） ●成人式そのものの運営方法を抜本的に見直すべきではないか。（川口） ●難しい案件であり、継続した活動を望む。（谷口） ●開催単位の見直しとともに地域が関わる成人式のあり方を検討してはどうか。（小松）	1	3	3	3	3	1	1	1	2	1
			2 分からない	1												
			3 妥当でない	4												
52 デジタル戦略課	314011	発行物、市有財産への広告掲載（庁内パソコン） （担当課自己評価：A）	1 妥当である	9	2●賛同できるも、進捗が不透明。（谷口）	●市政改革の取り組みとして位置づけられるものなのか疑問である。（山下） ●市民に対して、目に見える成果をどう表現するのか難しい。（谷口）	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
			2 分からない	1												
			3 妥当でない	0												
53 資産活用推進課	314020	ネーミングライツの推進 （担当課自己評価：C） ✓新プラン継続予定	1 妥当である	8	3●何もできていないのなら、未着手ではないのか。（山下） 1●成果が感じられ、妥当と判断。（谷口） 2●施設の老朽化は計画当初からわかっており、それが計画の遅れの原因というのが理解できない。（小柴）	●見通しの甘さが招いた結果。（山下） ●他の施設候補はどこか（河崎） ●今後も積極的な推進に期待。（谷口）	3	1	1	1	1	1	1	2	1	
			2 分からない	1												
			3 妥当でない	1												
54 資産活用推進課	314030	全庁的な広告事業の推進 （担当課自己評価：C） ✓新プラン継続予定	1 妥当である	9	1●市民にも目に見えており、妥当と判断。（谷口） 2●民間事業者からの広告収入の確保を継続しつつ市役所としてメディア掲載等による広告収入策が検討されていないように思う。（小松）	●管理番号314010-30の4件は一体的に取り組まれるべきで、次期計画では改善されたい。（山下） ●RFIの結果はどうだったのか。何で止まっているのか（河崎） ●より一層の推進に期待。（谷口） ●「すごい鳥取！」のコピーは良かった。市役所としてインフルエンサーを輩出するくらいスキルを磨いてほしい。（小松）	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
			2 分からない	1												
			3 妥当でない	0												
55 行財政改革課	314040	クラウドファンディング活用の推進 （担当課自己評価：A）	1 妥当である	9	1●妥当と判断。（谷口） 2●自治体クラウドファンディングの活用について専門的な知見が活かされていない。（小松）	●314040～314060は類似のしくみであり、素人目には違いがわかりづらい。規模として最も大きいのは「ふるさと納税」のようであるが、その分経費もかかっているようである。これら3つをさらに効率的に調達・活用できるように、そして、市民にもその成果をわかりやすく発信いただきたい。（川口） ●積極的活動が見られる。（谷口） ●佐賀県などの成功事例を参考にしてはどうか。（小松）	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
			2 分からない	1												
			3 妥当でない	0												
56 資産活用推進課	314050	ふるさと納税の推進 （担当課自己評価：B） ✓新プラン継続予定	1 妥当である	10	1●妥当と判断。（谷口）	●年々納税者数が増加しており、今後も有効活用に期待。（谷口）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			2 分からない	0												
			3 妥当でない	0												
57 資産活用推進課	314060	企業版ふるさと納税の推進 （担当課自己評価：A） ✓新プラン継続予定	1 妥当である	10	1●課題は多いが、妥当と判断。（谷口）	●積極的なPR活動も進められていて、今後にも期待。（谷口） ●企業は、メリットは求めるが、同時に、（社内/社外への）大義があれば寄付するので、大義ある対象事業づくり/選定が重要と考える。（土橋）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			2 分からない	0												
			3 妥当でない	0												
58 出納室	314070	効率的な公金の運用 （担当課自己評価：B）	1 妥当である	9	2●成果が不透明。（谷口）	●現状もよくわからず、成果もはっきりしていない。（谷口） ●運用は民間の委託/助言を入れているのか。入れていなければ、それは法律などで出来ない仕組みか。（土橋）	1	1	1	2	1	1	1	1	1	
			2 分からない	1												
			3 妥当でない	0												

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

施策 公有財産の整理合理化と適正な財政運営の推進

細施策 戦略的な予算配分の推進

	管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
59 行 財 政 改 革 課	321010	補助金適正化の推進 （担当課自己評価：B） ✓新プラン継続予定	1 妥当である	6	1●取組内容に問題なし。（谷口） 3●経済が低迷している中で適切な補助金活用で新分野の事業推進が可能と思うが、市民や企業に対する補助金メニューや活用策についての発信力が乏しい。（小松） 3●あとはどのようにして知ってもらえるかを考えてほしいと思います（森田） 2●選択と集中の、特に「集中」の考え方が不明。「効果の高い」とは何を意味するのか。（土橋） 2●補助メニュー一覧を公開したことは当たり前のことで、分かりやすくなったかは補助金申請時にアンケートとして調査してみてもは？（小柴）	●周知徹底をわかりやすくすれば、より一層改善されると感じている。（谷口） ●補助金申請後の事業成功に向けた寄り添うアドバイスがないように思う。また、補助金活用が年度当初に間に合う適正なスケジュール感になっていないことなど、見なすべき内容は多いと感じる。（小松） ●わかりやすい補助メニュー一覧かどうかの判断を誰がしたのか不明。（小柴）	1	1	1	1	3	1	3	2	2	1
			2 分からない	2												
			3 妥当でない	2												
60 行 財 政 改 革 課	321020	投資効果を踏まえた事前評価制度の構築 （担当課自己評価：B）	1 妥当である	7	3●事前評価制度自体必要なのか疑問。（谷口） 3●事業の選択と集中が出来ていないことは現場の声が届いていないということに尽きる。選択後の事業実施に向けたスピード感に欠ける。（小松） 2●現在、どの様なルール、運用がなされているかが不明。記載内容は、既に実施されていても良い様な、至極当然の内容に思われる。（土橋）	●事前評価に時間がかかりすぎているように感じる。（谷口） ●事業評価がマンネリとなっており、制度疲労を起こしている事業が継続されているなど、スクラップアンドビルドが適切に行われているは疑問に思う。（小松）	1	1	1	3	3	1	1	2	1	1
			2 分からない	1												
			3 妥当でない	2												

細施策 公共施設再配置の推進

	管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
61 課 資 産 活 用 推 進	322010	再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進 （担当課自己評価：B） ✓新プラン継続予定	1 妥当である	9	1●妥当と判断。（谷口） 3●313040に見られるような施設管理が現実に行われており、目的と効果が不明瞭な案件がある。（小松）	●早急な対応を希望。（谷口） ●特に中山間地において、「建物が無くてもサービス提供は可能」とする成功例をどのようにしていくのかを具体的に示してほしい。（小松）	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1
			2 分からない	0												
			3 妥当でない	1												
62 課 資 産 活 用 推 進	322020	施設の複合化や集約化の推進 （担当課自己評価：B） ✓新プラン継続予定	1 妥当である	9	2●単年度計画の進捗状況は「322010再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進」を参照とあるだけで、判断できない。（山下） 1●必要なことであり、妥当と判断。（谷口）	●来年度までに、個別成果指標にある5件に到達できるのか。（山下） ●より一層の活動に期待。（谷口）	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			2 分からない	1												
			3 妥当でない	0												
63 課 教 育 総 務 課	322030	校区再編の推進 （担当課自己評価：B）	1 妥当である	7	3●個別成果指標の43校区中、16校区では計画通りとは言えないのではないかと。（山下） 2●時間を要する事案であり、判断し難い。（谷口） 2●地域意見が力をもっているために再編できないケースもある。（小松）	●必要な事であるので、早急に改善必要。（谷口） ●企業誘致などにより住宅地が造成され、当初より児童生徒数のシミュレーションが変化した校区もある。（小松） ●20年後を見据えた～とあるが、旧市内の校区の再編成も必要なのでは。（小柴）	3	1	1	2	2	1	1	1	1	1
			2 分からない	2												
			3 妥当でない	1												

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手
 ※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

細施策 新たな事務経費削減手法の展開															
管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
64 出納室	323010 庁内備品の共同利用 (担当課自己評価：C) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	10	1●妥当と判断。(谷口)	●単に遅れているのではなく、かなり大幅に遅れており、理由の説明を求めたい。(山下) ●台帳の整理ができていない理由は(河崎) ●積極的な取り組みも評価できる。(谷口)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2 分からない	0												
		3 妥当でない	0												
65 教育総務課	323020 学校施設維持管理の効率化 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	1●妥当と判断。(谷口) 3●ハード・ソフト両面において現状の学校施設は防災機能が満たされていないのではないか。(小松) 2●進捗状況を見る限りはAでもおかしくないなと思いましたがかなり余裕をもって計画していたということでしょうか(大久保)	●取組内容に問題なし。(谷口) ●自然災害が頻発する中で防災拠点としての機能は欠かせない。屋上太陽光パネルの設置や体育館の空調管理、災害備蓄品保管スペースなど、地域と学校施設の活用策の検討は必要。(小松) ●効率化した部分を、例えば、ユニバーサル対応/多様性対応などへ振り向ける事も重要であり、選択と集中という観点を入れてはどうか。(土橋)	1	1	1	1	3	1	1	1	1	2
		2 分からない	1												
		3 妥当でない	1												
66 デジタル戦略課	323030 システムの共同利用の推進 (担当課自己評価：B) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	7	2●市民目線でわかりづらい。(谷口) 2●計画の指標には21.8%とあるが、成果欄にはなしとあり、なしで計画通りなのか不明。(小柴)	●工程表の記載が大まかすぎるので、より具体的な記述を心がけてほしい。(山下) ●不透明さを払拭すべく改善が必要。(谷口)	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1
		2 分からない	3												
		3 妥当でない	0												

市政改革プラン実施計画 二次評価シートまとめ

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手
 ※いただいたご意見のうち、資料2で回答した質問・疑問を赤字で表示しています。

細施策 将来を見据えた計画的な財政運営の推進

課	管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	山下	河崎	川口	谷口	小松	土師	森田	土橋	小柴	大久保
			1	2			3	4	5	6	7	8	9	10		
67 行財政改革	324010	市債発行の抑制と計画的な公共事業の推進 (担当課自己評価：B) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	8	2●工程表と単年度計画の記述が対応していないので、判断しかねる。(山下) 1●妥当と判断。(谷口) 2●効果額の差が大きく、計画通りなのか不明。(小柴)	●毎年同じ作業の繰り返しで改善が不要なら、計画化する必要はないのではないか。(山下) ●計画的に進められていて、問題なく感じる。(谷口)	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1
			2 分からない	2												
			3 妥当でない	0												
68 行財政改革課	324020	中長期財政計画の策定と公表 (担当課自己評価：C)	1 妥当である	8	1●公表に至らなかった理由を明記されたい。(山下) 1●ビジョンが近年わかりやすくなってきており、妥当と判断。(谷口) 2●目的や必要性は伝わるが、具体性が見えない。(土橋) 2●公表は大切なことなのに、なぜ公表に至らなかったのか不明のため判断できない。(小柴)	●毎年同じ作業の繰り返しで改善が不要なら、計画化する必要はないのではないか。(山下) ●メディアの有効活用も必須。(谷口)	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1
			2 分からない	2												
			3 妥当でない	0												
69 出納室	324030	一時借入金利率の軽減 (担当課自己評価：A)	1 妥当である	8	2●利息の支払い額を抑えることが出来たのは、担当課の成果といえるのか。当初予算の設定次第ではないのか。(山下) 1●妥当と判断。(谷口) 2●簡易水道等の統合に伴う施設改修の進捗だけ見るとまだ着手していない地域もあることが気になりました(大久保)	●毎年同じ作業の繰り返しで改善が不要なら、計画化する必要はないのではないか。(山下) ●計画的に進められており、問題なし。(谷口)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2
			2 分からない	2												
			3 妥当でない	0												
70 行財政改革	324040	外郭団体の経営健全化(全体方針) (担当課自己評価：C) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	8	2●取組状況がわかりづらい。(谷口) 2●特に早急に経営の健全化を進めるのではなく、ヒアリングに特化しているので、何が計画より遅れているのか不明。(小柴)	●21団体の経営改善計画策定を来年度中に完遂できるよう、最大限努力されたい。(山下) ●なぜここまで遅れているのか、理由が知りたい(河崎) ●方針に問題はないが、目に見える成果とはかけ離れている。(谷口)	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1
			2 分からない	2												
			3 妥当でない	0												
71 資産活用推進課	324041	外郭団体の経営健全化(土地開発公社) (担当課自己評価：C) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	9	3●進捗状況が遅く感じる。(谷口)	●個別成果指標と取組実績が一致していないので、件数ではなく面積と資産額で示す必要がある。(山下) ●活動内容は賛同できるが、成果が表れていない。(谷口)	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1
			2 分からない	0												
			3 妥当でない	1												
72 市立病院	324050	公営企業の経営健全化(市立病院) (担当課自己評価：B) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	8	2●単年度計画、進捗状況と、担当課の自己評価の記載が対応していないので、なぜ計画通りといえるのか分からない。(山下) 2●改善するがゆえに、不便さを感じる。(谷口)	●医師不足もささやかれ、課題が多い。(谷口)	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1
			2 分からない	2												
			3 妥当でない	0												
73 水道局	324051	公営企業の経営健全化(水道局) (担当課自己評価：B) ✓新プラン継続予定	1 妥当である	10	1●問題なく、妥当と判断。(谷口)	●しっかり運営されおり、今後にも期待。(谷口) ●デジタル化(老朽箇所の発見、スマートメーター化など)によるコスト低減、効率化と、その削減分を専門性向上のために充てるなどの取り組みも必要と考える。(土橋)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			2 分からない	0												
			3 妥当でない	0												

(全体を通して何かご意見・ご感想があればご記入ください)

- ・5年間の計画期間の4年目であるのに、個別成果指標に大きく届かない状況で計画通りとしている取組が多く、驚いた。(山下)
- ・個別成果指標に掲げた目標を達成できなかった場合の責任や、反省はどのようにされるのか。努力を評価するのではなく、成果をしっかり評価しなければならない。(山下)
- ・評価シートのフォーマットにおいて、「進捗度評価」(AやB等で記入されるもの)の過去の実績も参考情報として記載されている欄があると、経年変化を追うことができる。そうすることで、例えば、「C」が複数年継続しているようであれば、大きな見直しなどを考えるべく、こちらも何か提言などできるかもしれない。(川口)
- ・私たちが評価して、担当課もそれを受けて意義ある次の取組へとつながるようにするために、当たり前のどの自治体でもやっている通常業務的な計画の評価は不要であるように思える(内部の極めて事務的な取組(駅南庁舎所属の消耗品の一括管理、共有フォルダの管理ルールの実地、庁内備品の共同利用等)や税金収納関係(債権の収納率向上、固定資産税(償却資産)の調査等)など)。(川口)
- ・市民目線での評価するにあたり、参考となる指標が少なすぎるように感じる。取組内容及び活動自体に問題はなく、市政をより良くするため一生懸命に活動されている事も評価できる。しかしながら、目に見える形や成果で判断するのが大半の市民である。今後はメディアやSNSなどの発信を多投し、より多くの市民への関心を掴んでいく必要があると感じている。(谷口)
- ・定性的な効果は分かるが、数字、KPIなどによる定量的な効果シミュレーションの提示が欲しい。(土橋)
- ・計画より遅れているものもあるが、どうしても仕方ない部分があると思います。全体的には進捗はいいと思います。(土師)

令和6年度 市政改革プラン二次評価での委員からの質問

回答依頼先	管理番号	計画名	質問（括弧内は委員名）	回答
1 協働推進課	111010	地区公民館の地域運営（希望する地区での指定管理制度の活用など）	●他地区で広がらないのはなぜか。1地区で良いという考えか（河崎）	●地区公民館の地域運営は、各地区の実情や考え方に加え、受け皿となる団体の有無や成熟度が重要となることから、一律に進めていくことは難しいと考えています。それぞれの地域のニーズや実態、特性に応じた選択肢の1つとして、佐治地区での取組状況を他地区へ共有しながら、本制度の活用を進めてまいります。
2 協働推進課	111020	ボランティアマッチングの推進	●団体企業へ向けたマッチングに至らなかった理由は（河崎） ●ボランティアの実績人数減の具体的な理由が知りたい。（小柴）	●ボランティア活動の意義を広く周知していくことで、団体企業がそれぞれの会社の特性を活かしたボランティア活動など展開していただくことを期待しています。 ●マッチングによるボランティア参加者数の減少は、「いっしょにボランティアしませんか？」の企画数の減少と、天候等により企画を中止したことが要因ではないかと考えています。
3 道路課	111030	道路破損・災害時等に於ける外部通報システムの構築	●目標は投稿数か投稿率が利用自治会数か？目指す最終形は？（河崎） ●市民から直接の通報を増やすことを目指すシステムなのに、議員や地区会長会での説明会で十分なのか。（山下）	●本システムの対象は、市議会議員、地区を代表する各町内会長、副会長であり、説明会等もこれらの方々を対象に行っているものです。しかし、全町内会への周知が完了していない状況であり、これらの方々に、きめ細かな説明を行い、利用率の向上に努めたいと考えております。
4 交通政策課	111040	地域住民との連携による公共交通の維持・確保	●工程表にある「新たな交通システムの構築」「バス路線の再編」にはいつたどり着くのか。（山下） ●「気高町と鹿野町でAI活用配車システムによる定額制乗合タクシーの実証実験を実施（令和4・5年度）」の概要と成果が知りたい。（川口） ●効果額の計画と実績の差の理由は何でしょうか。（小柴）	●路線バスが減便・廃止となった地域においては、地域住民が運行主体となる共助交通の導入・拡充やバス事業者以外が運行主体となる乗合タクシーや市有償バスの導入など新しい交通システムの構築に取り組んでいます。また、バス路線の再編に向けては、路線バスの代替交通としてのAIオンデマンド乗合交通の実証実験を行うなどの検証を継続して実施しています。引き続き生活交通の確保・維持するため取り組んでまいります。 ●以下の鳥取市ウェブサイトよりご覧いただけます。 https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1702953554197/files/ketakakaigi_2023_1204_2.pdf ●効果額については、計画最終年度の令和6年度の実績をもって、共助交通の導入及び維持費用等を鑑み算出することとしています。
5 協働推進課	112010	若者の参画促進	●取組実績にR4年度が2回あるが、一つはR5年度ですか？（小柴） ●地域活性化を図るとあるが、どういう状態が目指している地域活性化になるのでしょうか。（小柴）	●地域社会の担い手となる若者が本事業を通して、公民館を拠点として行われるまちづくりへ参画することによって、若者の新たな発想が地域の魅力創造や課題解決を推進し、地域住民の活力となっていくことを目指しています。
6 協働推進課	112020	職員等の派遣の推進	●制度の周知が必要なのか、そもそもニーズが少ないのか、見極めと判断が必要ではないか。（山下） ●市職員のスキル向上の取り組みのイメージ（一例）は？（河崎） ●そもそも該当地区数はいくつですか？	●広報チラシや研修会を通じて制度周知を図っているところではありますが、地区毎に地域運営組織の実情やあり方検討の熟度に差があり、見直しが進んでいない地区も多いと感じています。地域の課題を聞き取りながら、地域の実情に合わせた本制度の活用を進めてまいります。 ●協働事業の必要性や事例を学ぶことを目的とした協働のまちづくり研修（職員対象）の実施や、県が行っている地域コーディネーター講座の受講などを通じて、スキル向上を図っています。 ●該当地区は61地区になります。
7 協働推進課	112030	協働内容の精査	●まちづくり協議会と公民館運営委員会の組織が一体化した2地区はどこでしょうか。（小柴）	●令和5年度は修立地区と瑞穂地区の2地区で組織の一体化を行いました。
10 行財政改革課	121030	外部委託等推進方針の見直し	●具体的に外部委託を予定している業務にはどういったものがあるのですか。（川口）	●現在鳥取市で外部委託している主な業務については、庁舎や各施設の管理委託業務（指定管理委託を含む）、総合窓口の受付業務、コールセンター設置運営業務などがあります。また来年度からは、本庁舎の管理委託に学校、保育園等を含めた89施設を一括して包括的に管理委託（維持管理業務、修繕業務、巡回点検）を導入することで、管理品質の向上、不具合への迅速な対処、職員の負担軽減を図ることとしています。
11 デジタル戦略課	122010	オープンデータの推進	●データを公開していることが市民に周知されているか疑問（河崎） ●毎年1件も推奨形式での公開が出来ないのは、何か問題があるのでは？（小柴） ●「庁内保有データのリストアップ等に時間を要し」とあったが、それはどうしてか。人員不足要因か元々のデータ管理システム上の要因か。（川口）	●市公式ウェブサイトや鳥取県オープンデータポータルサイトで公開しているオープンデータは、市民等に活用していただいているものと考えていますが、より多くの方に認知していただき、活用していただくよう周知していきます。 ●人員不足もありますが、どのようなデータがあるのか、また、紙ベースのデータのデータ化などに時間を要したことによるものです。 ●公開している9件の推奨形式での公開に時間を要していますが、現時点では推奨形式で3件公開しています。

令和6年度 市政改革プラン二次評価での委員からの質問

回答依頼先	管理番号	計画名	質問（括弧内は委員名）	回答
12 協働推進課	122020	NPO・企業からの協働事業提案制度の推進	●12件提案のうち5件で提案実現との成果があったが、あとの7件は次年度以降で実現していく予定でしょうか。（川口）	●令和5年度に受けた12件の提案のうち実現しなかった7件は、審査や検討の結果、実現困難と判断したものです。
13 行財政改革課	211010	職員のコスト意識の醸成	●予定されていた研修と意識調査の実施で「計画通り」とするだけでなく、アンケートでのコスト意識の向上を目標とすべきではないのか。（山下） ●web研修なのに受講率が100%にならないのはなぜか。（小柴）	●受講後アンケートでは、非常に満足した・満足したとの回答が83%であり、今後の業務の参考になった、新たな視点を得られた等、職員のコスト意識の醸成に一定の効果があったと考えています。 ●受講者には2度受講通知を送り未受講者に催促しましたが、業務の都合上、受講できない職員が数名いたところ。また、Web研修は受講しものの、未完了（再生途中で切断した、受講後の簡易テストに合格しなかった等）のまま終わって未受講となった職員もいたようです。
14 デジタル戦略課	211020	職員のICTスキルアップ	●「デジタル職員育成方針」とはどういうものなのか知りたい。（川口）	●DX推進のために必要な人材を育成し、本市DX推進に必要な人材像や人材育成研修を体系的に定めることで、職員ひとりひとりがデジタル人材として目指すべき方向性を自覚するとともに、主体的にDXを推進していくための方針です。 以下の鳥取市公式ウェブサイトからご覧いただけます。 https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1718599980193/index.html
15 行財政改革課	211030	職員提案の充実	●今年度は実施を見送ったとのことですが、提案したい人は出来なかったということですか？（小柴）	●把握はしておりませんが、そのような職員もいたかと思われれます。
16 職員課	211040	職員の自主的な活動支援	●新たな検討課題とは何か。 大幅な遅れをどのように取り戻すのか、中止するのか、しっかり判断されたい。（山下）	●市役所本庁舎多目的室の職員利用は、市民の方の利用を優先する観点から本市事業等の場合に限り可能であり、自主的な活動に対しての利用可否については検討課題となっている状況です。 また、本計画は今年度末で中止とし、新市政改革プランにおいては職員の活躍を推進できるような新たな枠組みを検討したいと考えています。
17 職員課	212010	フレックスタイム制度の導入	●さまざまな目的で制度が利用できるよう、柔軟な運用を期待したい。1日7時間45分でもなくとも、週38時間45分でも良いのではないのか。（山下） ●「利用する職員からの意見なども踏まえ、必要に応じて運用面に関する検討を行う」とあるが、どんな意見が挙がっているのか知りたい。（川口）	●1週間当たりの勤務時間数が38時間45分となるようなフレックスタイム制度の導入については、窓口サービスを担う基礎的自治体として日ごろより市民対応を行っていることや、導入できる部署とできない部署での不公平感が生じるなどの課題もあり、現時点で導入は困難であると考えています。制度の運用については、職員の意見や他自治体の動向も参考にしながら研究していきたいと考えています。 ●現在は職員から制度が利用しにくいなどの意見は出ておりません。今後、問題があるという意見が出た場合は、運用面に関する検討を行います。
18 職員課	212020	女性活躍の推進	●取り組み開始以後、女性の管理職登用はどれくらい増えているのかが、指標となるべきではないのか。（山下） ●危機管理局の女性職員配置率がどうなのか知りたい（小松）	●特定事業主行動計画では、女性の管理職登用は、令和6年度末までに部長級及び次長級の割合を12%、課長級の割合を30%以上にするを目標としています。これは、毎年度、組織改編等により管理職の母数が変動することもあり、登用人数の増減だけでは進捗が判断できないため、占める割合を指標としているものです。 〈参考〉登用割合の推移は、部長・次長級が、令和元年度9.1%、令和2年度9.4%、令和3年度11.8%、令和4年度14.3%、令和5年度14.6%となっており、課長級は、令和元年度21.4%、令和2年度26.9%、令和3年度20.9%、令和4年度22.2%、令和5年度23.4%となっています。 ●危機管理部署の職員13人中、女性は2人です。
19 職員課	212030	障がい者雇用率の拡大	●法定雇用率は正規職員だけでも達成されなければ、制度の主旨に反するのではないのか。（山下） ●正規・非正規それぞれの2.6%の数値はどうなっているのか。（山下）	●障害者雇用率制度は「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づくものであり、すべての事業主が障害者に雇用の場を提供する社会的責任を有するという趣旨であることから、正規・非正規をもって制度に適合しているかどうかを判断するものではないと考えます。また、本市で対象障害者としてカウントしているのは主に週30時間以上の職員であり、制度上は正規・非正規問わず常時勤務する職員としてカウントすることとされています。 ●R6.6.1時点での正規（常勤）職員のみでの雇用率は3.68%、非正規（短時間勤務職員）職員のみでの雇用率は2.14%となっています。

令和6年度 市政改革プラン二次評価での委員からの質問

回答依頼先	管理番号	計画名	質問（括弧内は委員名）	回答
20 職員課	212040	メンタル休職者の削減、ハラスメント対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ●内部、外部窓口はあるが、相談を受けた後の、解決体制/ルールはどうなっていますか。（土橋） ●「受検率の低い職場への声掛け」とあるが、どうして当該職場の受検率が低いのか原因は掴まれているか。（川口） 	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレスチェックの回答期間中に定期的に職場ごとの受検率を確認し、その時点で受検率の低い職場には個別に所属長に向けて啓発をし、所属職員に回答するよう促しをかけてもらっている。 ●特定の所属が恒常的に受検率が低いということではなく、繁忙期が重なるなどで後回しになる状況が考えられる。
24 職員課	213040	内部通報制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●「是正」の内容はなんでしょう。解決体制/ルールはあるのでしょうか。（土橋） 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の法令違反行為等を通報する受付窓口、受付後の調査から法令違反行為等の是正などの処理の流れ、通報した職員の保護といった内部通報制度のルールを定めた鳥取市職員公益通報取扱要綱に基づいて内部通報制度を運用しています。「是正」の内容としては、事実関係の調査をはじめ、事実であった場合の該当職員への指導・懲戒処分の実施、再発防止策の検討・策定などが予定されるところです。
25 職員課	221010	適切な労務管理による時間外削減	<ul style="list-style-type: none"> ●上司を通さないアンケート等で実情把握はしているのか（河崎） 	<ul style="list-style-type: none"> ●時間外勤務の多い部署については、要因と改善策について該当する所属長と適宜協議を行うことで、長時間労働の是正を図っているところですが、それとは別に、職員課も同席する産業医面談の中で、時間外勤務の多かった職員から現状の聞き取りを行ったり、現場の実情を熟知する職員労働組合から現場の実情に関するの提供を受けるなどすることで、上司を通さない現場の実情把握にも努めています。
27 職員課	221030	効率的に業務を遂行する職員への評価制度	<ul style="list-style-type: none"> ●効率性以外にも評価する観点はあるのですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●効率性以外にも、「規律・倫理」「協調性」「積極性」「責任感」「市民対応」「報告・連絡・相談」「知識・技術」「理解力」「創意工夫」「業務遂行力」「表現力」といった評価項目に基づき職員の人事評価を行っています。
29 総務課公文書管理室	222010	電子文書化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●現状は紙と電子のハイブリッドでしょうか？よりコスト高のように感じる。強制的な移行は難しいのか（河崎） ●電子文書化システムの推進計画は市民にも公表されているのですか（小松） 	<ul style="list-style-type: none"> ●財務会計システム側の支出席行行為などに紙決裁のみの運用があり、それに付随した文書も紙決裁で行う必要があるため、すべて電子決裁とはしておりません。新システムが令和7年度に運用開始となれば、すべて電子決裁で行える予定です。 ●鳥取市市政改革プランの実施計画や、鳥取市デジタルトランスフォーメーション推進方針の実施計画として公表されています。
30 検査契約課	222020	物品購入、支払いの一括管理	<ul style="list-style-type: none"> ●購入、管理、支払を一括管理集約したことで購入量は減りましたか。（小柴） 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度のコピー用紙購入箱数はペーパーレス化推進の効果もあって3149箱となり、平成30年度の購入箱数5468箱と比較すると、箱数は2319箱の減少、減少率は約42%となりました。
33 総務課	222050	効率的な会議運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●この会議もPC持ち込みやタブレット貸し出しでペーパーレスにできるのでは？（河崎） 	<ul style="list-style-type: none"> ●この会議においてもPC持ち込みは可能です。貸出用タブレットも使用できます。今後、実験的な導入を検討します
35 デジタル戦略課	223010	A I ・ R P A の導入	<ul style="list-style-type: none"> 3 ●RPA利用業務数は前年度を上回っているが、個別成果指標の50業務には遠く及んでいないのではないかと。（山下） ●効果額実績がマイナス766万円。システム導入に伴う初期投資かと思われるが、目標280万を取り戻せそうか？（河崎） 	<ul style="list-style-type: none"> ●A I - O C R や R P A の業務改善への活用は年々増加しており、令和5年度末時点にける活用業務数は34業務となっています。職員のA I - O C R や R P A に対する知識も徐々に高くなってきており、個別成果指標の50業務は達成できるものと見込んでいます。今後も、研修の実施やデジタル戦略課職員によるフォローなど、目標の達成に向けて取り組んでいきます。 ●システム導入には一定の固定費がかかりますが、より多く活用することで固定費を上回る削減効果が見込めます。年々、A I - O C R や R P A の活用件数が増加しており、今後もより活用件数が増加するよう、研修の実施やデジタル戦略課職員によるフォローなど、目標の達成に向けて取り組んでいきます。
41 収納推進課	311020	キャッシュレス決済の導入	<ul style="list-style-type: none"> ●キャッシュレス決済は手数料が高いイメージですが、収納額と事務効率化のバランスはとれているのでしょうか。（小柴） 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャッシュレス化の主目的は市民の納付利便性の向上ですが、従来からの金融機関窓口での納付書払いより、QRコード化やスマホ決済払いの方が鳥取市が負担する手数料の単価は少額であり、歳出抑制に繋がります。また、キャッシュレス入金情報は一括で収納システムへ取り込まれるため、入力ミスの減少等、事務効率化も図れています。

令和6年度 市政改革プラン二次評価での委員からの質問

回答依頼先	管理番号	計画名	質問（括弧内は委員名）	回答
45 行財政改革課	312010	使用料・手数料の見直し	●R3年度で止まっている。理由の内部調整とは具体的に何か？（河崎）	●調査してきた他都市の状況等を鳥取市の実態を踏まえた使用料・手数料の見直し方針としてまとめていくことです。
47 資産活用推進課	313010	貸付・売却可能な市有財産の公開と公売の推進	●公用車3台の売却額が257万円とあるが、どのような状態の車を売却しているのか。（山下） ●売却額が適正なのかはどこが判断されますか？（小柴）	●公用車の更新等により未利用となった公用車で、中古車販売状況や過去の官公庁オークションでの取引状況を元に10万円以上で売却が見込める車を売却対象としています。ただし、故障等で動かない車は、対象外としています。 ●土地の売却については、不動産鑑定士による鑑定価格を元に資産活用推進課で売却価格を設定しています。公用車の売却については、官公庁オークションでの売却を行っています、官公庁オークションでは、入札方式で最高値を入札した方が落札者となり売却を行っており、市場価格での処分ができていていると考えています。
48 財産経営課	313020	多目的室等の貸室化	●目標稼働率の30%の根拠は何ですか。貸出し業務のみならず外部委託の可能性はありませんか？（小柴）	●多目的室の使用時間は9時から22時の13時間であり、各室とも毎日概ね半日（4時間程度）の利用を目標として、稼働率30%と設定しています。 外部委託については、多目的室2.3が庁舎内にあるため、平日の夜間及び休日利用時には庁舎管理を併せて行う必要があるため外部委託は難しいと考えています。
49 教育総務課	313030	廃校の有効活用の検討	●この両校以外の状況はどうか。（山下） ●他の貸付可能な廃校はあるか？（河崎）	●使用しなくなった学校施設は、その後の用途により担当課へ所管替えています。 教育総務課で所管する他の廃校施設は、地元への貸付を行っています。 また、現時点では、他に貸付可能な廃校はありません。
51 生涯学習・スポーツ課	314010	発行物、市有財産への広告掲載（成人式案内通知）	●どういう方法で企業を募集したのでしょうか。（小柴）	●生涯学習スポーツ課から、資産活用推進課へ広告主の選定を依頼した。 資産活用推進課にて一般公募による郵便入札（募集期間：4/15～7/12）を実施したが、応募がなかったため、先着順による随時募集に切り替え公募（7/19～）をおこなった。 その後応募があった（8/8）事業者を広告主として選定した。
53 資産活用推進課	314020	ネーミングライツの推進	●他の施設候補はどこか（河崎）	●建物等は老朽化等もあり導入が難しい状況もあるため、公園などへネーミングライツが導入できないか検討を行いたいと考えています。
54 資産活用推進課	314030	全庁的な広告事業の推進	●RFIの結果はどうだったのか。何で止まっているのか（河崎）	●RFIの実施により具体的事業として14件の情報提供があり、その中で1件（ゴミ袋への広告）を選定し事業化に取り組んでいます。
58 出納室	314070	効率的な公金の運用	●運用は民間の委託/助言を入れていますか。入れていなければ、それは法律などで出来ない仕組みでしょうか。（土橋）	●複数の証券会社から情報提供をいただき運用しています。委託などはしていませんが、法的にできないためではありません。

令和6年度 市政改革プラン二次評価での委員からの質問

回答依頼先	管理番号	計画名	質問（括弧内は委員名）	回答
59 行財政改革課	321010	補助金適正化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 選択と集中の、特に「集中」の考え方が不明。「効果の高い」とは何を意味するのですか。（土橋） ● 改革の目標の分かりやすい補助メニュー一覧かはどう判断するのでしょうか。（小柴） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「集中」…選択した事業に予算等を集中させ、効果的に事業を展開させることを考えているものです。 ● 「効果の高い」…費用対効果を意味するものですが、事業の事前評価（優先順位、スクラップアンドビルドなど）にウェイトが置かれており、より効果的な検証が行えるように検討が必要と考えています。 ● 市公式ウェブサイトで公開している補助メニュー一覧（補助金等交付予定一覧）には、補助金名だけでなく、担当課や予算額、補助事業の概要、補助金の対象（団体補助やイベント補助など）、部局ごとの補助事業数を掲載しています。 <p>※参考_他都市の状況 令和6年10月時点 松江市／一覧の公開なし 各種補助事業案内ページへのリンクページあり 米子市／一覧の公開あり 掲載項目_担当課、補助金名、予算額、対象、概要 倉吉市／一覧の公開なし 境港市／一覧の公開なし</p>
60 行財政改革課	321020	投資効果を踏まえた事前評価制度の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、どのようなルール、運用がなされているのでしょうか。（土橋） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 政策協議は毎年やり方を変えながら開催していますが、概ね各部長が重点的に取り組む施策や事業などを副市長等に説明、意見交換を行い、政策決定や事業のスクラップアンドビルドなどの早期化を図っています。 ● 普通建設事業費部局長PTでは（管理番号324010とも関連しますが）次年度以降に実施する事業について事前評価と優先順位の決定を行い、評価結果をもとにした予算編成を実施しています。※交付税措置率の高い地方債を優先的に活用。
62 資産活用推進課	322020	施設の複合化や集約化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 来年度までに、個別成果指標にある5件は到達できるのでしょうか。（山下） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の複合化等を行うには時間を要しますが、目標達成できるように取り組んでいきたいと考えています。
67 行財政改革課	324010	市債発行の抑制と計画的な公共事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年同じ作業の繰り返しで改善が不要なら、計画化する必要はないのではないかと。（山下） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期の起債シュミレーションにより将来負担を見込むことで、市債の発行計画を立てることができず、この計画に基づき、毎年度実施する普通建設事業費のプロジェクトチームにおいて事業の優先順位を決定し、市債の発行を抑制しています。このため、健全で持続可能な財政運営を目指すためには計画化が必要であり、また、その計画については毎年度見直しを実施することでアップデートしています。
68 行財政改革課	324020	中長期財政計画の策定と公表	<ul style="list-style-type: none"> ● なぜ公表に至らなかったのでしょうか。（小柴） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大が本市の地域経済、住民生活にも影響を与えており、国の経済対策や市独自の経済対策、感染症対策さらに物価高騰対策も重なったため、臨時的な財政状況をもとに中長期の財政見直しを作成するのは困難であると判断しました。
70 行財政改革課	324040	外郭団体の経営健全化（全体方針）	<ul style="list-style-type: none"> ● なぜここまで遅れているのか、理由が知りたい（河崎） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外郭団体では、各団体で経営健全化計画を策定し、経営の効率化、市民サービスの向上を目指して、経営改革に取り組んでいます。市では各団体の取り組みを進め、自立化を図るため、現行の方針にはない新たな視点を取り入れた方針を検討しているところであり、各団体の経営状況の実態、今後の運営方針などの把握に努めているところです。